

## はじめに

### 教務主事

高等専門学校(以降、高専)の使命は、創造力を備えた実践的技術者を育て、広く世界に送り出す事にあります。従って学生諸君には、『福井高専卒業後は問題解決能力を持った能動的な技術者として、様々な課題を抱える現実社会をよりよくしていくために貢献して行く』という気構えを常に持ち続け、日々の学習に取り組んでほしいと思います。

さて、我が国に初めて高専が設置されたのは昭和37年です。創設の背景には、その当時の我が国経済の高度成長がありました。閣議決定された第一次全国総合開発計画では、「地域間の均衡ある発展を目標とし、人間の能力の開発において、高専の配置は中堅技術者に対する地域の需要にこたえるように推進されなければならない」と謳われています。

福井高専は昭和41年4月1日に設置され、機械工学科、電気工学科(平成17年に電気電子工学科に改組)、工業化学科(平成7年に物質工学科に改組)の3学科に126名の第1期生を迎えました。さらに、昭和45年に土木工学科(平成5年に環境都市工学科に改組)が、昭和63年に電子情報工学科が増設され、現在の5学科体制となり、平成10年には、本科(5年間)の卒業後、さらに2年間高専で学べる専攻科を設置し、学士を持つ修了生を送り出しています。

高専教育の特徴は「5年間一貫教育」、「早期技術者教育」にあり、高校や大学とは異なる独自の教育体系によって、創設以来、世の中のニーズに応える優秀な技術者を送り出し社会から高い評価を得ており、求人倍率の高さは、皆さんの先輩方が一線で活躍し、社会に貢献している証であると言えます。本校はこれまでに八千余名の卒業生を準学士として世の中に送り出しています。

このシラバスは、本校における準学士課程、つまり本科課程の教育内容が書かれています。本校には、基本理念とそれに基づく教育方針があります。さらに社会からの要請を取り入れた学習・教育目標と養成すべき人材像を含むディプロマ・ポリシーも掲げています。これらは皆さんが福井高専(準学士課程)を卒業する時に備えるべき知識と能力を表しています。このディプロマ・ポリシーを皆さんが満足するため、カリキュラム・ポリシーが各専門学科、一般科目ともに定められ、これに沿った教育課程表となっています。シラバスには皆さんが卒業に必要な知識と能力を身につけるために各学科のカリキュラムの流れ、各科目と学習・教育目標との関係、各科目の授業内容・到達目標などが明示され、今、学んでいる科目でどのような知識が身につくのか、将来どのような科目に結びついて、卒業時の能力とどのように関連しているのかがわかるようになっています。学生の皆さんは授業に臨むにあたって、このシラバスを常に座右に置き、授業内容を把握し、予習を行ったり、すでに習った関連科目の復習を行ったりして、授業内容の理解を深めるために利用してください。そうすることで皆さんの将来を切り開き世界に羽ばたく為の礎にして欲しい。わたしたちはその願いを込め、このシラバスを作っています。

高専生である皆さんには、常に先を見据え、巣立つ時の成長した自分の姿をイメージし、自ら掲げた目標に挑戦しながら高専生活を有意義に過ごすことを切望しています。

## 履修単位と学修単位について

教務主事

学生の皆さんが履修している授業科目の単位計算について、本校では履修単位と学修単位の2種類があります。

(1) 履修単位 (30単位時間履修単位)

1単位の授業科目を30単位時間(1単位時間は50分)の履修とするものです。

(2) 学修単位 (45時間学修単位)

大学と同様な単位計算で、授業時間以外に必要な学修を考慮し、1単位の授業科目を45時間の履修とするものです。本校では、3種類の学修単位があります。

学修単位Aは、授業時間15時間、時間外学修(学生による自学自習を含む学習のこと)30時間です。学修単位Bは、授業時間30時間、時間外学修15時間です。学修単位Cは、授業時間45時間です。

\*各学年の授業科目は次のようになっています。

(1) 1学年から2学年まで

すべての授業科目が「履修単位」です。

(2) 3学年から5学年まで

一部の授業科目に「学修単位」が導入されています。また、学際カリキュラムの選択科目は「学修単位A」となります。

\*「履修単位」と「学修単位」の区別はこのシラバスに明記されています。また、各授業において担当教員から説明がありますので、それぞれの学習方法を理解して授業に臨んでください。